

協働のまちづくり説明会記録(三枝地区)

《開 会》

《説明者等紹介・日程説明》

《市民活動推進課説明》

①地域ですすめるまちづくりについて

(協働のまちづくりについて、自主運営組織のあり方について)

《企画課説明》

②行政ですすめるまちづくりについて

(市民参加条例(仮称)の制定に向けて)

《説明全体に対しての質疑応答・意見交換》

- ・単位町内会などの合併を市としては狙っているようなイメージにとれた。連合町内会、社教等町内単位で行っている事業が大きくなり、エネルギーにも限りがあるので、逆に大変になるのではないか。それぞれに行っていることにまとまりが無くなるのではないか。

現状でうまく機能している部分もあるので、しっかり議論しながら地域にあったペースで進めていただきたいと考えているが、目標を定めた形で議論をお願いしたい。協働のまちづくりは2～3年で結果が出るものではなく、長い目で5～10年かかると思われる。具体的に何をしたらよいのか分からない部分もあると思うが、全国の事例等を情報提供するので参考にしていきたい。

- ・市が具体的に地域に何をしてもらいたいのかがよく分からない。現状のままでいいのか、今の状態では不具合があるから何かしてほしいのか、そうだとすれば具体的に何をしたらいいのかの方向付けをはっきりしてもらいたい。

今後将来にわたり地域活動を維持していくことが重要になることから、市は地域に対して情報提供や働きかけをして、皆さんの自分たちで変えていこうという気運を高めていきたい。地域審議会が市が設置したものであったが、今回は全地域横並びになるとは考えていない。これからはみなさんで将来の地域の方針を自主的に議論していただくことが必要になると考えている。各地域の実情は、現在のところ把握していないが、まずは地域のことを語り合う自主運営組織の設置について検討いただきたい。

・ 他の事例はあるのか。

100を超える自治体で導入事例がある。例えば、岐阜県恵那市、滋賀県長浜市、大阪府八尾市、福井県越前市などが取り組んでいる。

・ 地域の課題を聞いてもらい、他の事例を基に解決策を探るための話し合いをするのなら分かるが、今回の説明は漠然としていてよく分からない。現状に何か問題があるのか。特に課題もなく、協働のまちづくりを提案しているのか。

例えば、町内会の加入者が減ることにより複数の役があたるなどの課題について、連合町内会や社教が一堂に会して語り合ってみてはどうか。

・ 地域の課題等について、まずはじめに地域の意見を聞き、地域の意見を踏まえたうえで市としての考えを提示するのなら分かりやすい。実際、地区社教を見てみると、若い世代の方が少なく、今後も維持していくことができるのか心配なところはある。

今日がスタートであると考えている。今後皆さんが集まる機会があれば、市としても一緒に話し合いに参加して、具体的な内容にしていきたい。

《閉 会》